



南関中スピリッツ

R3年度南関中学校学校便り

自主 創造 友愛

「自分の限界に挑戦！チャレンジ南関中」 NO.19 (文責 永杉尚久)

アクティブ！！生徒会

今、生徒会が熱い。活発に活動をしています。そんな活動のいくつかをご紹介します。

その① 生徒会新聞の発行です。

右図のように、きれいに編集された第1号を校長室に届けてくれました。各学級にも掲示されています。これで生徒会活動の様子が分かります。

その②は朝のあいさつ運動です。この活動は、これまでも歴代の生徒会で取り組んできて、伝統的な活動の一つです。来校された方から「あいさつがいいですね。」と褒めていただくこともあります。ただ、残念なことに声が小さい生徒もいます。今回は、お互いに気持ちよいあいさつを交わそうという目標を掲げてあいさつのレベルアップに取り組んでいます。

先日、生徒会長の宮本君が職員朝会の時に先生方にあいさつ運動の意気込みを訴えてくれました。職員も一緒に盛り上げていきたいと思えます。

その③は、学級会の活性化です。

生徒会役員が模擬学級会を開催してくれました。その様子を各学級の学級委員が参観し、自分たちのクラスの学級会運営に生かしていこうという取り組みです。学級会が活発になることで、生徒一人一人の意見がより反映された生徒会運営になっていくことでしょう。

積極的に活動する生徒会。今後の活動がより楽しみになってきました。

生徒会新聞

1月号
今号は1月21日、発行
文責：東本・坂本・角山
同本・会澤

はじめに
この日は、新年恒例行事です。私たちは健康に過ごし、元気に活動できるように努めています。この新年恒例行事は、生徒会が中心となって行っています。今年も、多くの生徒が参加し、大いに盛り上がりました。

1月号の、当分の生徒会活動の予定、副会長の担当行事です。
① 運動会(21日) ② 合唱コンクール(22日) ③ 文化祭(23日) ④ 体育祭(24日) ⑤ 運動会(25日) ⑥ 運動会(26日) ⑦ 運動会(27日) ⑧ 運動会(28日) ⑨ 運動会(29日) ⑩ 運動会(30日) ⑪ 運動会(31日)

【生徒会役員】 ① 会長(東本) ② 副会長(坂本) ③ 幹事(角山) ④ 会計(同本) ⑤ 庶務(会澤)	【生徒会委員】 ① 会長(東本) ② 副会長(坂本) ③ 幹事(角山) ④ 会計(同本) ⑤ 庶務(会澤)
【生徒会顧問】 ① 校長(永杉) ② 副校長(永杉) ③ 教頭(永杉) ④ 教務主任(永杉) ⑤ 生活指導主任(永杉)	【生徒会顧問】 ① 校長(永杉) ② 副校長(永杉) ③ 教頭(永杉) ④ 教務主任(永杉) ⑤ 生活指導主任(永杉)

各委員からのお知らせ
【学級】(東本) 各学級の活動が盛んに行われています。運動会や文化祭などの行事も、各学級で準備が進んでいます。来校された方から「あいさつがいいですね。」と褒めていただくこともあります。ただ、残念なことに声が小さい生徒もいます。今回は、お互いに気持ちよいあいさつを交わそうという目標を掲げてあいさつのレベルアップに取り組んでいます。

【文化】(東本) 文化祭の準備が進んでいます。各学級の出し物も、個性あふれています。来校された方から「文化祭がいいですね。」と褒めていただくこともあります。ただ、残念なことに声が小さい生徒もいます。今回は、お互いに気持ちよいあいさつを交わそうという目標を掲げてあいさつのレベルアップに取り組んでいます。

【体育】(東本) 体育祭の準備が進んでいます。各学級の出し物も、個性あふれています。来校された方から「体育祭がいいですね。」と褒めていただくこともあります。ただ、残念なことに声が小さい生徒もいます。今回は、お互いに気持ちよいあいさつを交わそうという目標を掲げてあいさつのレベルアップに取り組んでいます。

今日の論語

子曰わく、「父母の年は、知らざるべからざるなり。一は則ち以て喜び、一は則ち以て憂ふる。」と。

先生は言われた、「両親の歳は知っていないければならないものだ。その理由の一つは長生きを喜び、もう一つは健康を気づかうために。」と。

私にも母がおられます。一昨年、八十の祝いを私たち兄弟家族で行いました。十年前みたいなのに、あちこち動き回って活動する姿は少なくなりましたが、元気でいてくれることに感謝しています。

命の繋がり。親や先祖があつてこそその自分です。そして、子や孫につながっていきます。改めて思います。

南関中生の輝き

〈玉名郡市書き初め大会〉

- 特選 藤原美咲③ 大佐古結夏①
 入選 宮本峻輔③ 宮本一磨②
 三良礼愛① 松原紗代①
 佳作 多田隈綾乃③ 福山美紅③ 寺嶋大翔③
 池田まこ③ 森山龍雅③ 畠中悠月②
 平山和心② 竹川真生② 小竹陽菜①
 金栗由依① 松尾空①

〈有明新年文芸〉

- 入賞 廣川結心① 武田天空①
 佳作 佐田妃穂① 金栗由依①

※入賞者の作品(詩)は裏面に掲載しています。

【新庁舎落成式】

1月15日に次世代を担う若者の代表として、生徒会の代表がテープカットに参加しました。



学級委員は、話し合いの要点をメモしながら参観しています。

ひとはいつか

南関中 一年 廣川 結心

曾祖父がいる病院におみまいにいった
いつ亡くなるのか分からない
おみまいにいった次の日亡くなった
急でよく分からなかったし
泣くのは恥ずかしいことだと思ったから
泣けなかった 泣けたらよかった
人前で泣くことは恥ずかしいことではない
悲しいなら泣いて
現実を受け入れなければならない
でも、泣いても現実を受け入れられない
生き返るわけでもない
だから死が怖いと思った

春の木もれ日

南関中 一年 武田 天空

ある春の日
山の竹達は会話する
僕はそこにたたずんで
竹達の会話を聞いている
見わたすと深い竹の森が
ずっと
ずっと
続いていく
そして空は竹にかこまれて
そんな竹の木もれ日に
ちよんと出ているたけのこが
明るくきれいに
照らされている